

第7期中原区地域福祉計画（素案） の概要について

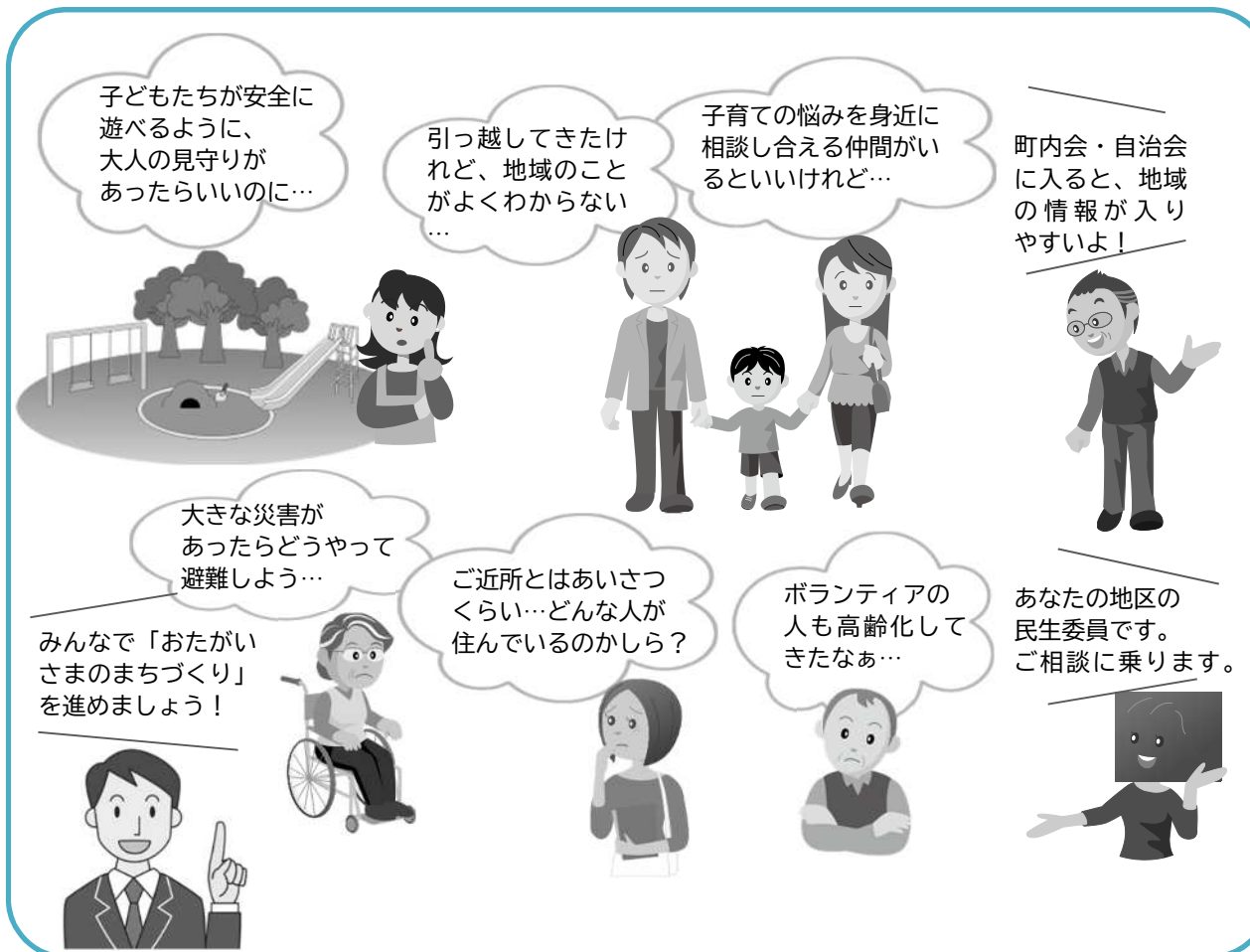


福祉のこころ、
人と人との橋わたしで
支え合える地域づくり

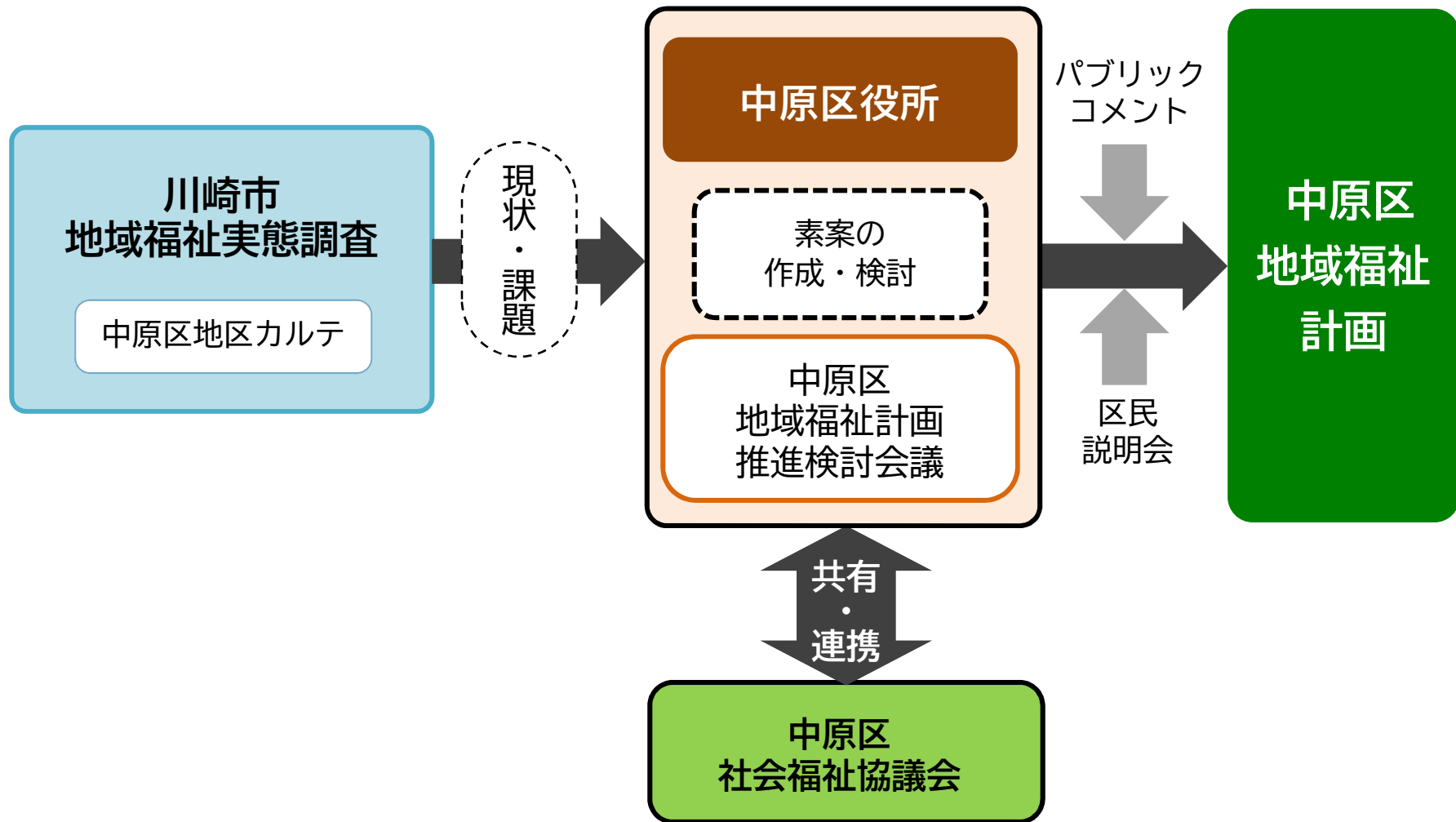
令和6（2024）年度～令和8（2026）年度

中原区地域福祉計画とは

「中原区地域福祉計画」は、区民が抱える生活課題に区民自らが主体となって取り組み、さらに地域全体で支援するための計画です。



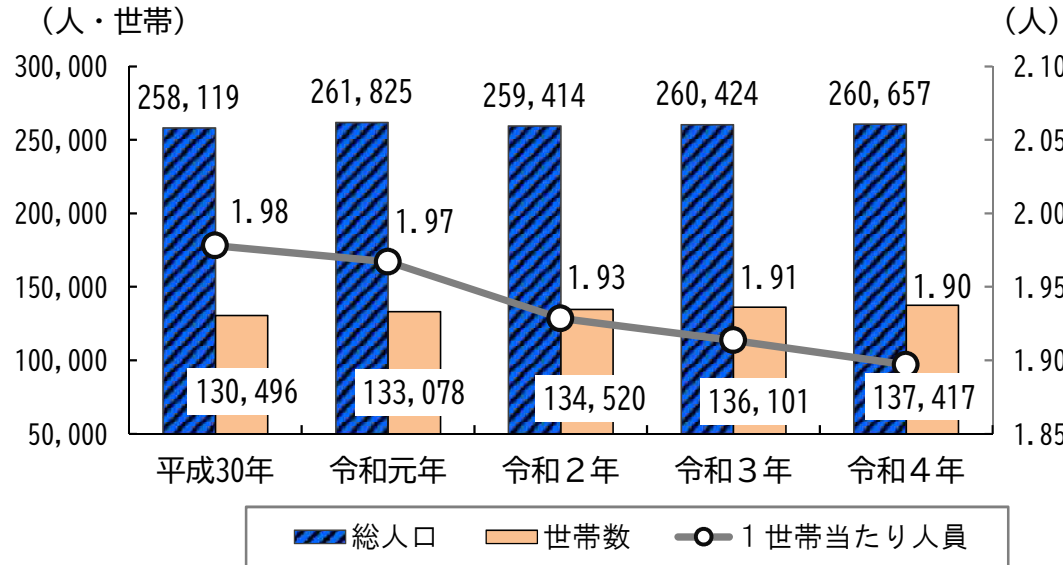
中原区地域福祉計画策定の流れ



中原区の特徴（1）

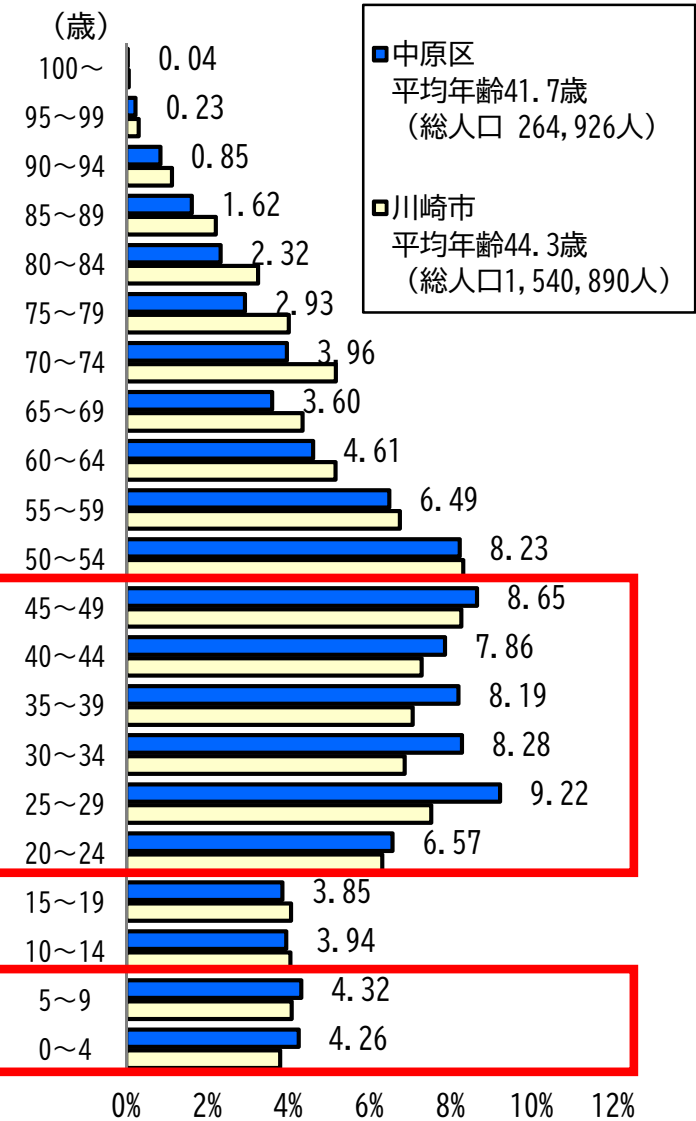
人口増加が続き、7区で最も人口が多い。
0～9歳、20～49歳の割合が市より高く、平均年齢も7区で最も低い。

● 総人口と世帯数



資料：川崎市統計情報「川崎市の世帯数・人口」（各年10月1日現在）

● 年齢5歳階級別人口割合

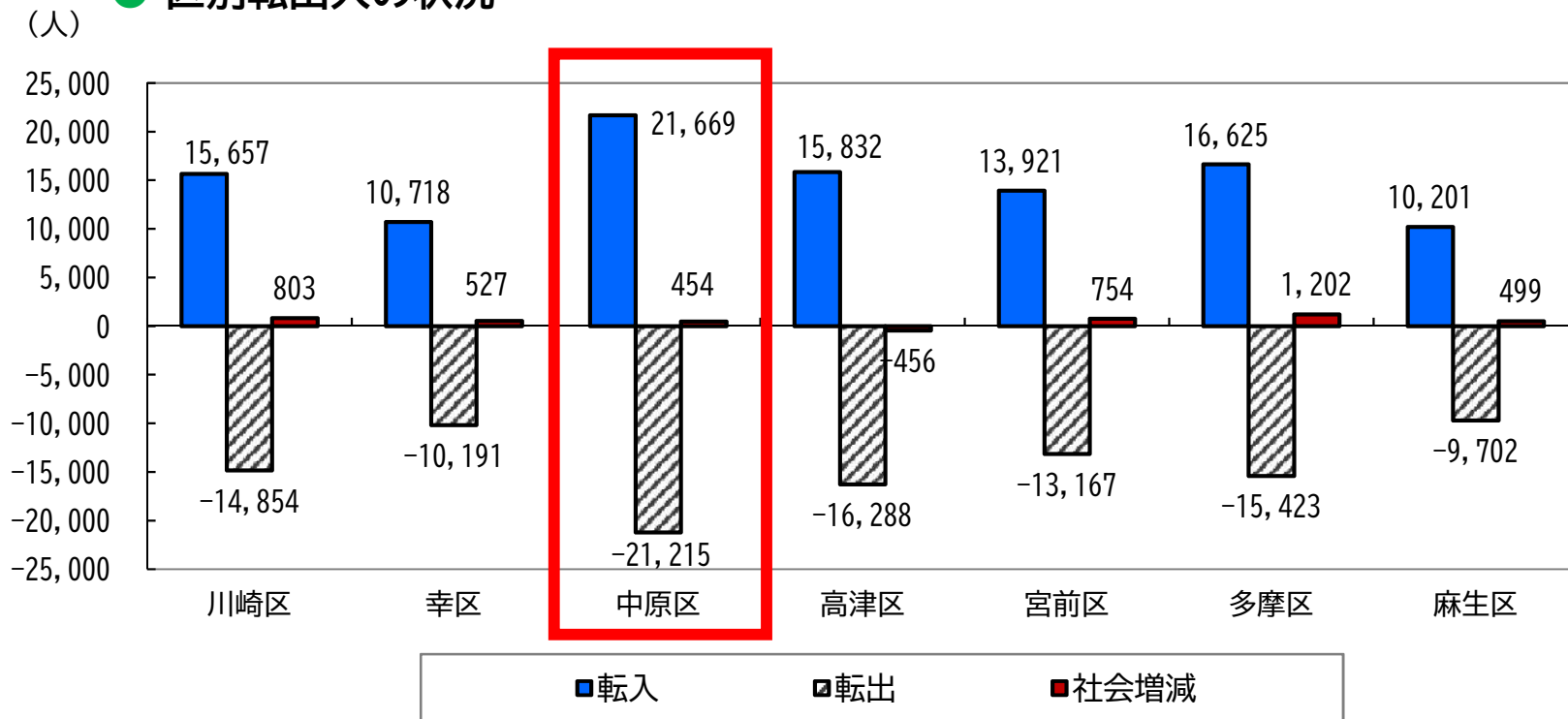


資料：川崎「川崎市年齢別人口」（令和4年10月1日現在）

中原区の特徴（２）

1年間で約21,700人の転入、約21,200人の転出があり、ともに7区で最も多い。

● 区別転出入の状況



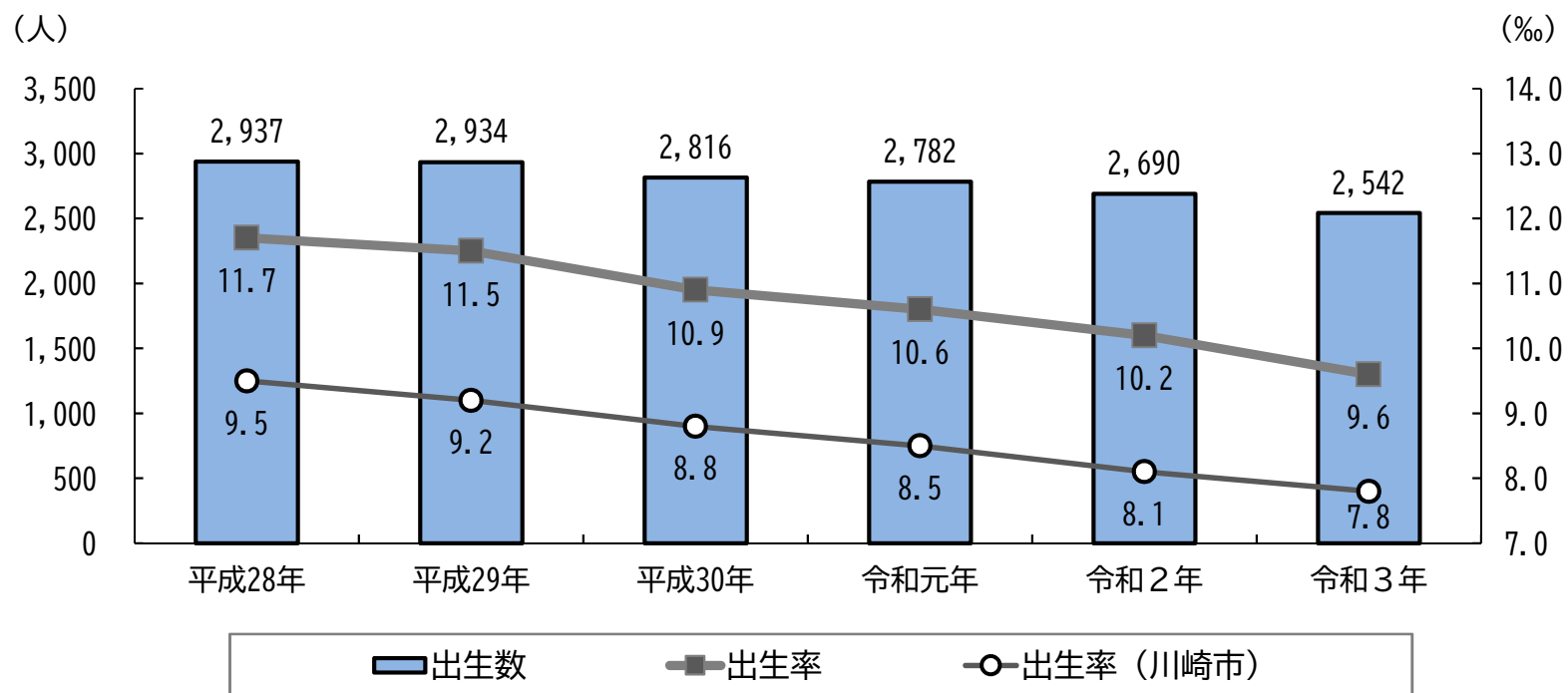
資料：川崎市統計情報「区別月別人口動態」（令和4年1月～令和4年12月の合計）

※社会増減…住民の転入から転出を差し引いた人数

中原区の特徴（3）

出生数・出生率は7区で最も高いものの、減少傾向

● 出生数・出生率の推移

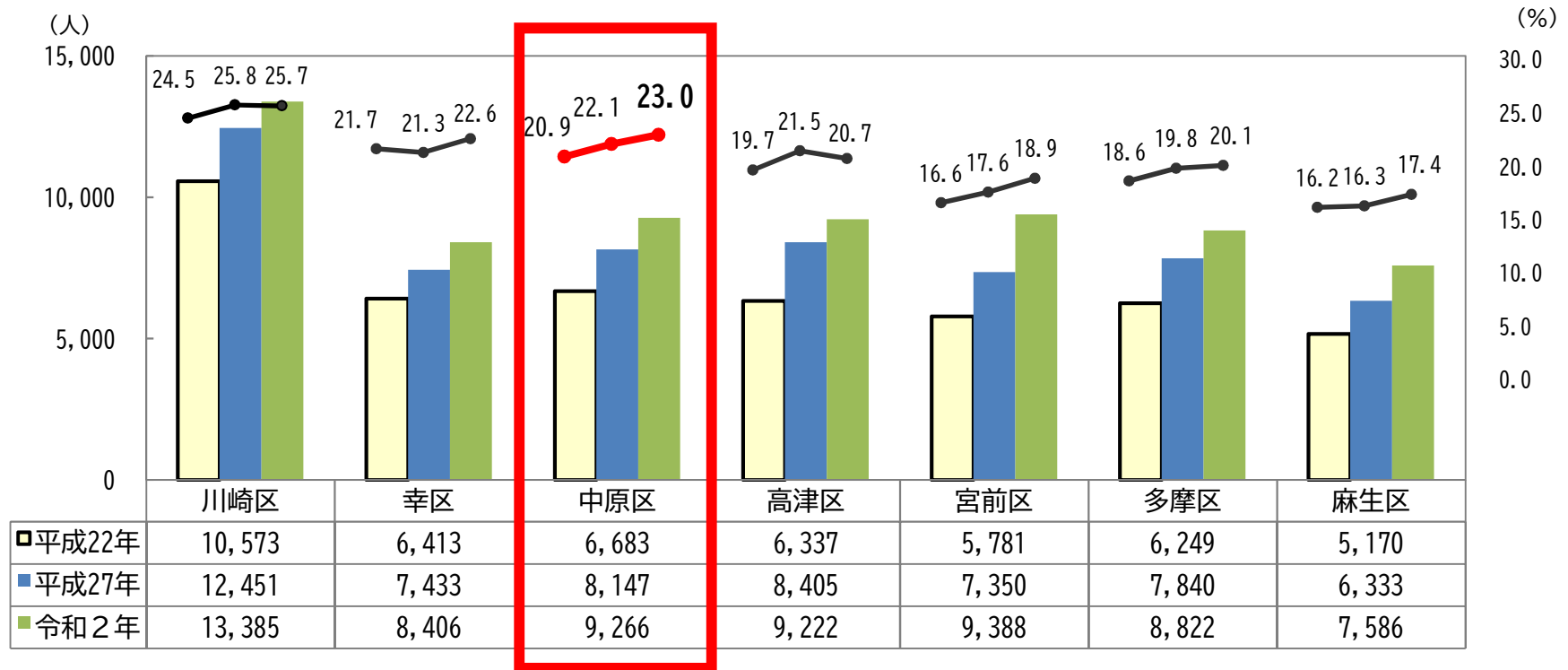


資料：川崎市健康福祉年報 ※% (パーミル) = 千分率 (人口千対)

中原区の特徴（４）

高齢者の約5人に1人はひとり暮らし

● 区別ひとり暮らし高齢者数と高齢者人口に占める割合の推移

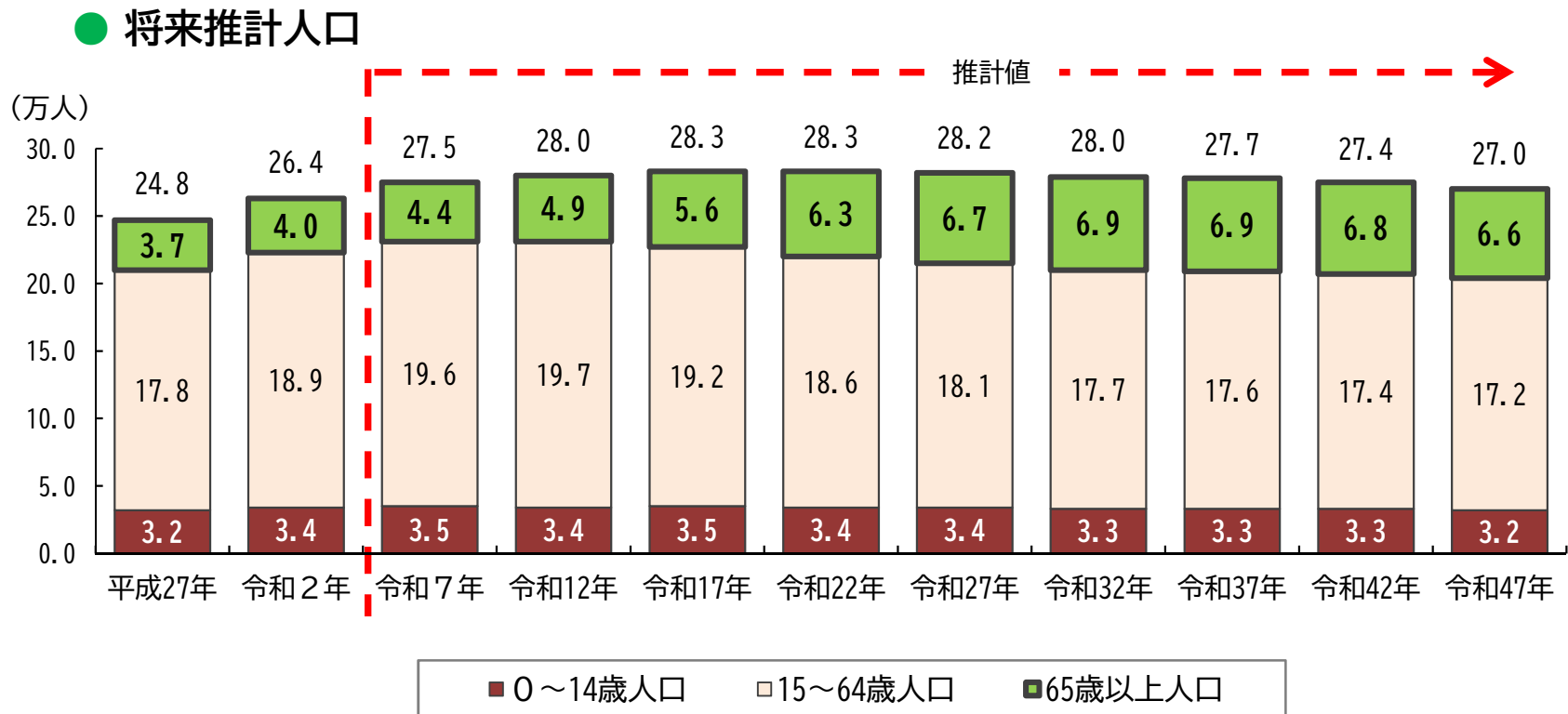


● 高齢者人口に占める割合

資料：国勢調査

中原区の特徴（５）

総人口は令和22（2040）年にピークを迎えるが、高齢者人口は令和32（2050）年まで増加を続けると推計。



資料：「川崎市総合計画第2期実施計画の策定に向けた将来人口推計について」
(各年10月1日現在) 令和4年2月 川崎市総務企画局

地域福祉計画推進検討会議の意見等からみえる課題

- 地域への愛着が生まれた人に担い手になってもらうためには段階があって、行政や地域の方も含め、どう背中を押していくか、知恵を絞っていく必要がある。
- 人の輪を作っていくためにも、一人ひとりをつなげていきたいが、昔と比べてつながりづらくなってしまっている
- 「コミュニティの地域福祉を支える人」を“支える人”を意図的に増やしていかないといけない。コミュニティを支える人をどう支えるか

第6期計画の振り返り（1）

重点施策

1

誰もが参加しやすい地域づくりの推進

- 新型コロナウイルスの影響により中止していた会場も含め、令和4年度までにほとんどの会場で子育てサロンを再開しました。定員を制限しながら、事前申し込み制で消毒や換気等を徹底するなどして、会場開催を行いました。その前段として、オンラインによる子育てサロンの実施や、過去に参加していた方にお手紙を出すなど、各地区で工夫しながら親子の支援に取り組みました。
- 子育て支援者養成講座では、区内の子育て事情や子育て支援の実態など、活動のきっかけになるようなテーマを中心に会場とオンライン併用で連続講座として開催しました。別途、実際の活動につなげるためのフォローアップ講座を実施し、その受講者が区内の団体等で新たに子育て支援活動を始めるなど、支援者の広がりがありました。
- 健康づくりや介護予防に係るボランティアの養成教室を実施し、養成教室終了後、実際の活動につなげるため、なかはらパンジー隊によるパンジー体操の講習を実施しました。また、動画やオンラインを活用した普及啓発を進めました。
- 「知る」、「集う」、「つながる」等の機能を実践する中原区SDCの取組を令和4年10月から開始したほか、「ご近所さんぽ」の取組やオンラインによる体操など、ゆるやかなつながりを創出するきっかけづくりを実施しました。

第6期計画の振り返り（2）

重点施策 2

支援を必要とするすべての人を孤立させないための取組の充実

- 赤ちゃんを迎えた家庭に訪問して、地域や子育ての情報を提供する「こんにちは赤ちゃん訪問事業」では、訪問員の養成研修を実施し、地域で子育てを支援する人材を増やしながら、時機をとらえた情報提供と支援を行いました。
- 適切な支援につなげていない認知症が疑われる人等に早期に関わる「認知症訪問支援チーム」を設置し、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、庁内外の専門多職種や関係機関等と連携して、アウトリーチ型の支援を実施しました。
- 包括的な相談・支援機能の充実として、子育て世帯や高齢者・障害者など、幅広い対象に向けた相談支援を実施したほか、区役所で実施している会議やイベント等の取組における手話通訳や要約筆記の派遣、外国籍の保護者に向けた新生児訪問時の通訳派遣などに取り組みました。

第7期計画に向けて

地域の特徴や会議等の区民意見を踏まえて 取り組むべき視点



- 区民と対話し、地域課題を意識し解決に取り組むきっかけを作る中で、活動に参加する人や関わる人を増やし、担い手となりうる人材を発掘・育成すること
- 見守りにつながる機会を増やすとともに、制度や取組を地域に周知・広報し、セーフティーネットを引き続き広げていくこと
- 行政だけでなく、様々な主体を含むネットワークの中で情報や課題を共有し、それぞれが主体的に取り組むこと
- 従来の地域活動にハードルを感じている人でも気軽に参加できる場や環境から、地域のことが自然に考えられる流れを作ること

中原区がめざす地域福祉

基本理念

福祉のこころ、人と人との橋わたしで
支え合える地域づくり



取組の視点

- ・ 地域で行われている取組を見たり知ったりする中で、地域への関心や地域づくりの意識を高めることが必要
- ・ 自分自身の健康や暮らし方を考えてもらうきっかけが必要
- ・ 地域活動の主体となっている人たちを支えるとともに活動する仲間を増やしていくことが必要



基本施策

- ・ 誰もが参加できる健康・いきがいづくり
- ・ ボランティア・地域活動支援
- ・ 地域で活動する仲間を増やす
- ・ 地域課題の解決に向けた支援の充実

基本目標 2

必要な支援やサービスが的確に届けられる仕組みづくり

取組の視点

- ・ 機会を捉えた適切な情報発信が必要
- ・ 相談支援の充実とともに、困りごとを抱える人への適切な支援が必要

基本施策

- ・ 情報提供の充実
- ・ 包括的な相談・支援機能の充実

基本目標 3

多様な主体が連携した施策・活動の推進

取組の視点

- ・ 様々な主体間のネットワークの充実
- ・ 連携して地域福祉活動を推進していく仕組みづくり

基本施策

- ・ 地域の見守り・支えあいの推進
- ・ 保健・医療・福祉の連携
- ・ 市民・事業者・行政の連携・協働
- ・ 社会福祉協議会との連携・協働

取組の視点

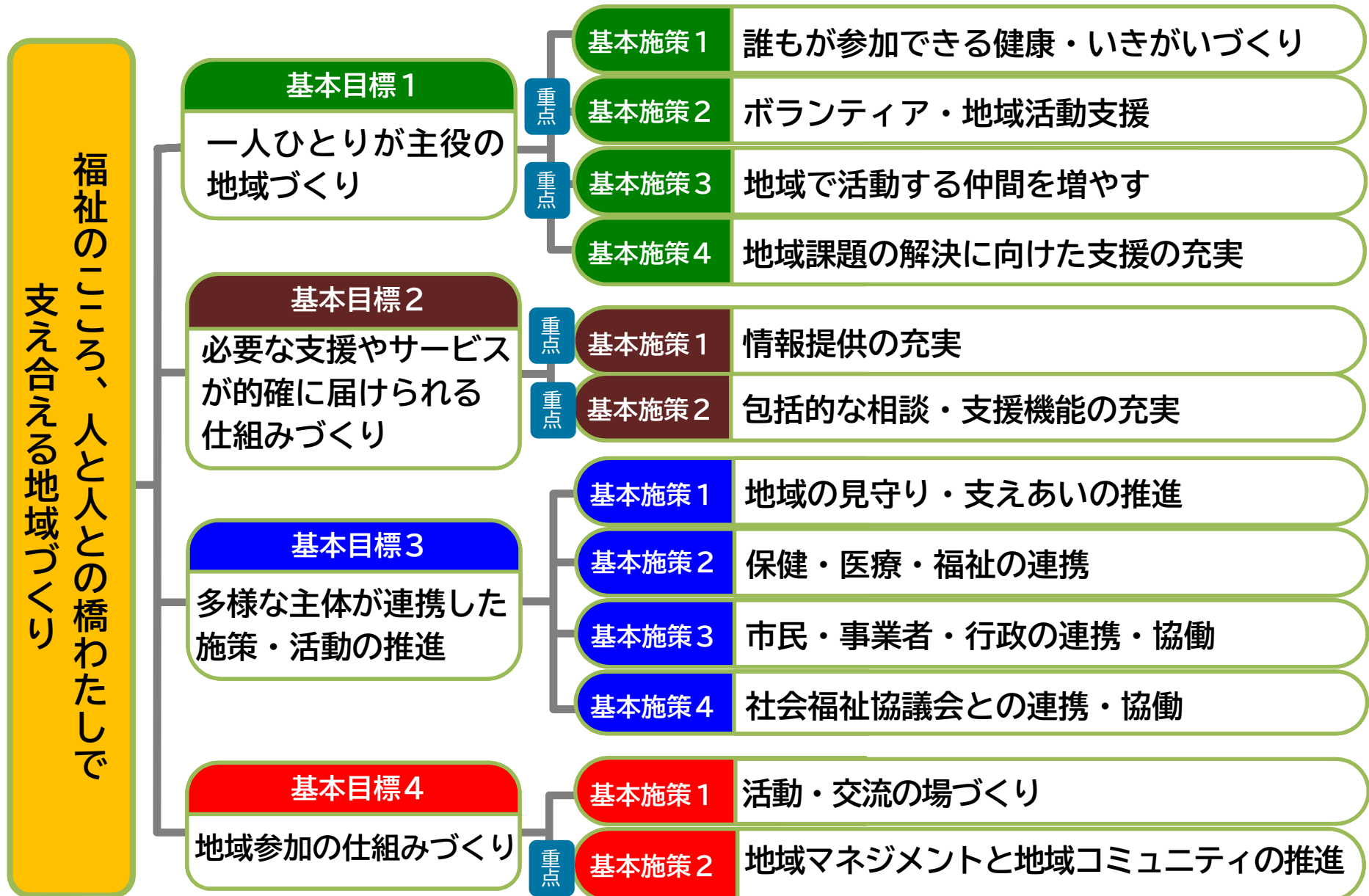
- ・ 地域活動に参加しづらいと感じていた人も気軽に参加できるような取組が必要
- ・ 関係機関と連携した地域活動の伴走支援が必要



基本施策

- ・ 活動・交流の場づくり
- ・ 地域マネジメントと地域コミュニティの推進

計画の体系



重点的に取り組む施策（1）

ボランティア・地域活動支援

基本目標1－基本施策2

★区の事業に協力しているボランティアや団体等への支援だけでなく、自主的に活動している団体や個人が継続して活動できるような支援や活動に応じたゆるやかなつながりづくりが求められています。



ボランティアや活動への理解を深める研修会等を通して団体の活動支援を進め、活動している団体同士が、困ったときにつながれるようなゆるやかなつながりを築き、活動の広がりを得ながら継続的に活動できるよう支援します。

重点的に取り組む施策（2）

地域で活動する仲間を増やす

基本目標1 - 基本施策3

- ★地域で活動する団体の多くはメンバーを増やすことを望んでいる一方で、参加していない理由にはきっかけがないとの声もあるため、情報提供やきっかけづくりが求められています。
- ★地域とのつながりを持っていない・持ちにくい人へのつながりづくりが継続課題であり、子どもの頃から地域活動を体験してもらうなど、地域に関心を持つ人を増やしていくことが必要です。



すぐに活動に関わらなくても、興味のある活動や自身の生活の中に取り入れやすい活動から気軽に参加してもらうなど、地域に関心を持ってもらう働きかけを行います。

重点的に取り組む施策（3）

情報提供の充実

基本目標2－基本施策1

- ★保健や福祉の情報の入手先が、市の広報、インターネットのホームページ、町内会・自治会の回覧板など、情報を得る方法がまだまだ受け身中心と言えます。
- ★転入者に対しては、地域福祉に関する普及啓発や地域情報の提供が求められています。



正確な情報を対象に応じた手段で発信し、困りごとを抱える人を適切な支援につなぐ取組を進めます。

転入の際に地域情報や福祉に関する情報入手先などをまとめて提供し、地域を身近に感じてもらえるように工夫します。

重点的に取り組む施策（４）

包括的な相談・支援機能の充実

基本目標２－基本施策２

★虐待や引きこもりなど、区役所だけでは対応しきれない、専門性が必要とされる問題に対しては、活動団体や関係機関との連携により、要支援者の情報を把握していくとともに適切な支援へとつなげていくことが必要です。また、一方でそのような問題に至らないよう、予防的支援も求められています。



困りごとを抱えていても、自分はまだ支援が必要ではないと認識している人たちが、日常生活の中で地域や専門機関との接点を増やしていく中で、相談しやすい環境を引き続き整備します。

重点的に取り組む施策（５）

地域マネジメントと地域コミュニティの推進

基本目標４－基本施策２

★地域活動やボランティア活動へ、ライフスタイルに合った関わり方の提示や提供が求められており、自らの興味関心や楽しみに感じることから、地域との接点が生み出せるような工夫が必要です。



区民の多様なニーズを受け止めながら、さまざまな地域資源をつなげることで、これまで地域活動に参加しづらいと感じていた人にも気軽に参加を促せるような取組を引き続き進めます。

基本施策

具体的な取組

1

誰もが参加できる
健康・いきがい
づくり

- 「なかはらパンジー体操」で健康づくり・介護予防
- なかはら親子体操「ミミケロはっぴいダンス！」で親子のふれあい促進
…など



オンラインでつなく
「なかはらパンジー体操」

2

ボランティア・
地域活動支援

- 「子育てグループ活動支援」で地域の仲間と子育てを楽しむ
- 「健康づくり・介護予防グループ」で地域の集いの場を創出する
…など

3

地域で活動する
仲間を増やす

- 「中原区子育て支援者の養成」で地域の子育て力向上
- 「食生活改善推進員の養成」でセルフケア意識向上とつながりづくり
…など



子育て支援者養成講座終了後に活動するボランティア（写真中央）

4

地域課題の解決に
向けた支援の充実

- 「地域包括ケアシステムの普及啓発」で一人ひとりが主役の地域づくり
- 「社会参加・共生推進学習」で外国人市民の暮らしを支援
…など

基本施策

具体的な取組

1 情報提供の充実

- 「シニアのためのおでかけマップ」で健康維持増進
- 「転入者への地域情報発信」で幅広い層が参加する地域づくりへ…など



おでかけスポットなどを紹介する「シニアのためのおでかけマップ」

2 包括的な相談・支援機能の充実

- 安心して出産・子育てできるように「妊娠期からの相談支援」
- 地域で身近な「高齢者・障害者の相談体制の充実」で安心した生活を送る…など



関係機関と連携し、相談支援体制の充実を図ります

基本施策

具体的な取組

1

地域の見守り・
支えあいの推進

- いつまでも生活が続けられるように
連携した「ひとり暮らし等高齢者
見守り事業」

- 「川崎市地域見守りネットワーク」で
異変のある住民を緊急支援

…など

2

保健・医療・
福祉の連携

- 「中原区在宅療養推進協議会との連携」
在宅療養の普及啓発

…など

3

市民・事業者・
行政の連携・協働

- 「中原区地域自立支援協議会」で
障害の有無に関わらず暮らしやすい
地域をめざす

…など

4

社会福祉協議会
との連携・協働

- 「中原区社会福祉協議会との連携」で
おたがいさまのまちづくり



見守り・支えあいを推進します



中原区社会福祉協議会PR大使
「中原パルるん」

基本施策

具体的な取組

1

活動・交流の場づくり

- 「なかはら子ども未来フェスタ」の開催を通じた地域で子育てを行う風土の醸成
- 公園緑地の愛護活動を通じた憩いの場づくり
- 地域におけるゆるやかなつながりの場づくり …など



地域の力で子育てを支える
「なかはら子ども未来フェスタ」

2

地域マネジメントと地域コミュニティの推進

- 地域包括ケアを推進する「地域マネジメントの推進」
- 「地域コミュニティの推進」で自分らしく暮らせる中原区へ



「ご近所さんぽ」でゆるやかなつながりづくり